

A B Cブロックにおける事業方針について

野洲駅南口周辺整備構想

【にぎわい創出のための考え方】

- **多世代が利用**できる空間の整備
- **多目的に利用**できる空間の整備
- **鉄道利用者を対象**とした集客能力のある機能の整備
- 駅前を有効的に活用する **機能の複合化**

市民ニーズ（アンケート調査結果）

【土地活用の方向性】

- 市民の **生活利便性向上**
- 駅周辺の **中心市街地の活性化**
- 駅周辺の **イメージを一新**
- **若い世帯の暮らしの魅力向上**

《利用したい施設》

- カフェ・喫茶店
- レストラン
- ファストフード店
- スーパーマーケット
- マルシェ等イベント開催できる芝生広場

これまでのサウンディング結果

【野洲駅南口周辺のポテンシャル】

- **事業参画ニーズが一定数あり**
- マンション、ホテル、業務ビルの活用など

～ABCブロックにおける事業方針～

人と人がつながり、にぎわう 居心地の良い駅前空間

<事業実施による利用シーン（例）>

近くに住むママやパパが子どもを遊ばせながらのんびり過ごす

仕事帰りに仕事仲間とお酒や食事を楽しむ

市内企業への出張者が地元ならではの食事を楽しむ

市民のサードプレイス※としていつでも気軽に立ち寄り、くつろぐことができる

学生が放課後に集まっておしゃべりや宿題をする

野洲駅を降りた観光客に野洲市やその周辺の観光情報を提供する

市民広場でイベントが開催され、多くの人々が集まる

京都や大阪へのおでかけ帰りに夕食や翌日の朝食を買って帰る

観光客が野洲市の特産品を買って帰る

※サードプレイス…自宅（第1の居場所）や職場（第2の居場所）とは隔離された居心地の良い第3の居場所